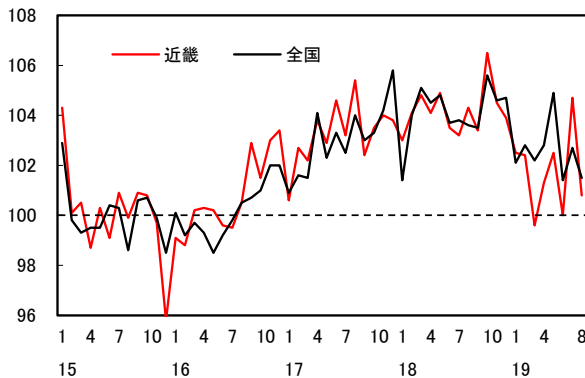


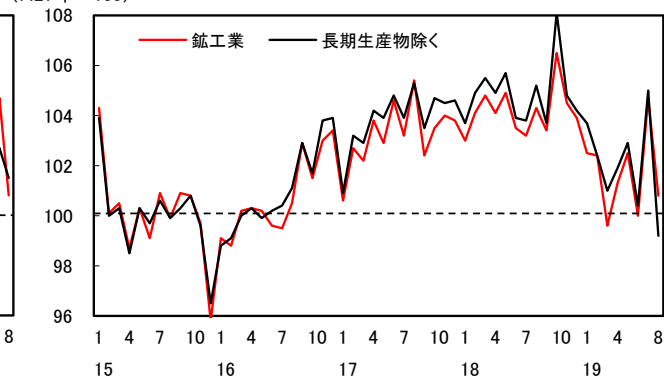
関西の景気トピックス【鉱工業指数（19年8月）】

- 19年8月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（季節調整値）は2か月ぶりの減少となった。業種別には、生産機械や電気機械、電子部品などが中心に減っている。一方、蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、2か月ぶりの減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同じく、出荷が減少することで結果的に在庫が増えるという「在庫積み上がり局面」となっている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、8月は電機・電子部品が大幅に減少した。米中貿易摩擦がさらに厳しさを増す中、今後も減少トレンドをたどる可能性が高い。日韓問題による影響も一部で加わるとみられるため、今後の推移が注目される。

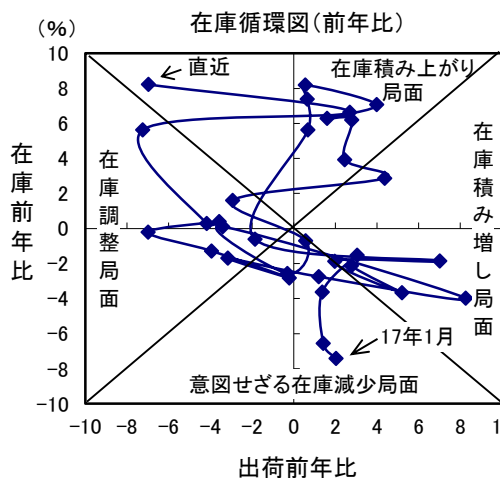
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



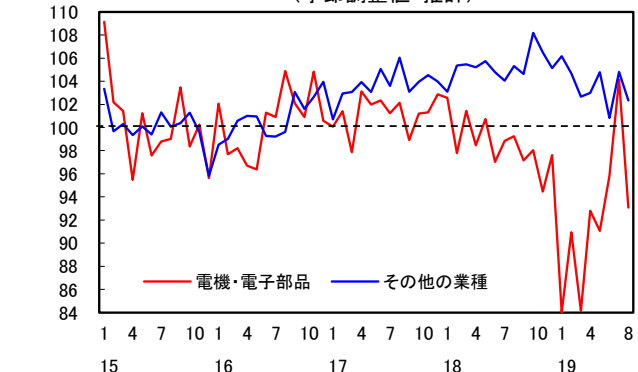
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



(H27年=100) 【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、りそな総研作成

 ※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均
 ※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。

 本件照会先:大阪本社 荒木秀之
 TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp